

令和5年度 第1回松本市図書館協議会 議事録

日時：令和5年8月23日（水）10：00～12：00

場所：松本市中央図書館 第1、2会議室

【出席者】

委員 7名（住吉委員欠席）
事務局 10名
傍聴者 0名

【議事録】

1 事務局からの事務連絡

(1) 委員の交代

新たなメンバーによる初めての協議会となる。

(2) 委嘱状と欠席者の報告及び会議の成立

ア 委員の委嘱状は本来、教育長から交付するところだが、会議簡素化のため席に置いてあるのでご承知おきいただきたい。

イ 松本視覚障がい者福祉協会の住吉委員が欠席だが、8名中7名の委員が出席で過半数を超えているため本会議は成立。

2 館長あいさつ

本協議会の委員の任期も変わり、新しい委員が任命された。私も4月に入り、図書館は21年ぶりの異動。だいぶ遠ざかっているため今の図書館運営に疎いところがあり、近場やいろいろな図書館をなるべく見るようにしている。先日も、神戸・大阪方面の図書館を視察し、新しい図書館は建物も含め雰囲気デザイン性が高く、やっていることも先進的な取り組みがされていた。

本市は、昨年10月に未来プランということでサービス計画を策定させていただいたのでそれに基づき、事業に取り組みたい。委員の皆様には忌憚のないご意見をお願いしたい。

3 出席者自己紹介

(1) 委員

柳澤委員 : 学校教育関係ということで任命された、市立大野川小・中学校の校長で、校長会の分担で、図書館関係を担当している。

中村委員 : 社会教育委員会からきている。若者の居場所ということで今年は動いている。Mウイングの図書室などを見てきた。勉強させてほしい。

馬場委員 : おなはしの会連絡会から。松本市内の小学校・幼稚園・その他でおはなし会をしている。図書館にはお世話になっている。

越高委員 : 学都松本子ども読書活動推進委員会より推薦。微力だがお力になれば。

鈴木委員 : 朗読ふれあいの会より。主に目の不自由な方、見えにくい方への朗読サービスと、盲学校での絵本の紹介などを行っている。

伊東委員 : 協議会は引き続きなのでご迷惑をかけないように静かにしている。

梅谷委員 : 公募で入った。数年前に松本に移住してきた。応募のきっかけは小さい頃から本が好きで、今も図書館でよく本を借りている。コロナで世の中も色々変化してきている。よそ者的な意見かもしれないが、失礼にならない範囲で違った視点で貢献出来ればと考えて応募した。松本に移住をしたきっかけとして、図書館が充実している街に住みたいと考えており、私が訪れた街では松本が一番だと思っている。

(2) 事務局

中央図書館: 藤森館長、大月館長補佐、内山館長補佐、牧野内主査、丸山(和)主任

鎌田図書館: 松崎館長

寿台図書館: 塩原(久)館長

中山文庫: 中村(尚)館長

島内図書館: 小林館長

空港図書館: 中村(誠)館長

梓川図書館: 塩原(正)館長

4 会長及び会長職務代理者の選出

改選後、最初の会議となるため、会長及び会長職務代理者の選出をお願いしたい。役員は、松本市図書館協議会規則第2条で「委員のうちから互選する。」こととなっている。今回は事務局で進行させていただくがよろしいか。

(意見なし)

会長及び会長職務代理者について、松本市図書館協議会規則第2条第1項で「会長を置く」こと、第2項で「会長は、会務を掌理すること。」、第3項で「職務代理者をあらかじめ会長が指名すること。」と規定している。会長及び会長職務代理者の選出方法について特にルール化されてはいないが、令和3年度の例を申し伝える。前回は、自薦他薦の意見がなかったため、事務局案の提示を求められ、会長には、図書館行政・図書館運営等に詳しい、図書館の専門家である伊東直登委員を、職務代理者には松本地域・子ども文庫・おはなしの会連絡会の三澤委員を選出する案を提示させていただき、事務局案のとおり選出された経緯がある。改めて申し上げるが、特にルールはなく、委員の互選により選出されるものになる。

特に意見がないようなので事務局案ということで、会長は前回から引き続き図書館の専門家である長野県図書館協会会長の伊東直登先生をお願いしてはいかがか。会長職務代理者には、これまで「家庭教育の向上に資する活動を行う方」の選出区分で各団体から推薦されている委員の方に就任していただいている経過がある。前々回が「松本地域子ども文庫・おはなしの会連絡会」、前回は、「学都松本子ども読書活動推進委員会」の推薦委員に就任していただいた。今回は「朗読ふれあいの会」の鈴木委員に会長職務代理者をお願いしたい。事務局案は以上だが、ご意見はよろしいか。

(意見なし)

特に意見はないようなので、事務局案のとおり選出するというのでよろしいか。

(異議なし)

よって、今任期の会長は「伊東委員」、会長職務代理者は「鈴木委員」をお願いしたい。それでは議事進行を会長をお願いしたい。

伊東会長：それでは、引き続きというか、慣れているところでやらせていただきたい。松本市民ではないため、市内のことに疎いのでおかしなことを言うと思うが、助けていただきながら、よろしくをお願いしたい。本日の会議は正午までという設定になっているのでそれまでに終わらせるようにしていきたい。

5 議 題

(1) 報告事項1 令和4年度事務事業報告について

資料1～3ページ 事務局より説明

ア 主な内容

令和4年度事務事業の概要

中央図書館の総合評価

令和4年度における重点目標の成果と課題

- ・松本市図書館未来プランの策定（新規）
- ・中央図書館の大規模改修（継続）
- ・電子図書館の導入とICTの利活用（新規）
- ・第2次学都松本子ども読書活動推進計画の推進（継続）

イ 意見・質問

（伊東会長）

- ・「松本市図書館未来プラン」というのが昨年度作られて、図書館サービス計画という、図書館の今後の覚悟を決めた冊子となる。松本市では初めて作られたもので委員の皆さんにはチェックをするのに使ってもらえば。

（越高委員）

- ・資料2ページ目の「中央図書館の大規模改修」のところの「PFI導入庁内検討会議」というのは何か。

（事務局）

- ・大規模改修をするにあたり、民間の力を導入する余地があるのかということのを庁内で検討する会議。検討会議なので結果については今後ご報告することになると思うが、例えば改修する時に、市だけの資金だけではなく、民間の資金を投入してできることを考えましょうということで、一定以上の金額がかかる改修ではやることになっている会議。

（越高委員）

- ・PFIとは何の略か。

（事務局）

- ・公共事業を実施するための手法のひとつで、プライベート・ファイナンス・イニシアチブの頭文字を取ったもので、民間の資金や経営能力を生

かして建てる、というもの。

(伊東会長)

- ・検討の結果はどうなったのか

(事務局)

- ・検討会議を庁内で開いて、一定の効果は数字的にあるとのことだが、図書館としては導入をしないという方向にはなっているが今は保留の状態となっている。

(伊東会長)

- ・行政文書は頭文字とか訳の分からないものがよく出てくるため、確認しながらやっていきたい。重ねてPFIとは建設工事の時にその後の管理運営までプロジェクトを組んでやるのが基本の形。ただ、今、いろいろな形ができていますので、松本市がどう考えているかにもよりますが、指定管理ということにつながってくるので、気にはなるが、今はそういうつもりがないということを聞いている。

(鈴木委員)

- ・サードブック事業ということで、資料10ページに学級文庫としてプレゼントすると書いてあるが、このことを指すのでよいか。夏休みの課題図書を配るとかも聞いたことがあるが、松本市は資料10ページに書かかれているこれでよいか。

(事務局)

- ・松本市ではブックスタートとして、10か月健診のときにお子さんに絵本のプレゼント。3歳児健診のときにセカンドブックとして。ブックスタートはどちらかというとお母さんに。セカンドブックはお子さんが選んでもらい、本をプレゼントする。小学校1年生になると、いろいろなジャンルの本がそれぞれ方向性が違って出てくるお子さんのために、一人一冊というよりも、学校の中に、学級文庫があるが、そこが一番本に親しめる場所じゃないか。学校にも図書室があるが、1年生は夏以降でないと利用できないという小学校が多い中で、お友達と本に親しめるよう、学級文庫としてプレゼントするようにしている。

(梅谷委員)

- ・PFIに戻るが、私自身はこの図書館がきれいだと思っている。改修と聞いてびっくりしたが、場所はここから移さずに改修するのか。少なく

とも任期期間の2年間はこの場所で活動するということでもいいか。

(事務局)

- ・現在の建物は平成3年のもので30年以上経っている。劣化度調査では躯体自体は問題ないが、照明はLED化しておらず、空調や機械設備の耐用年数がきているので、そういったものが総入れ替えとなっている。デザイン的なもので、この躯体を活かして、というのは民間に提案していただければと思うが、基本的にはこの中を変えて活かしてと考えている。

(梅谷委員)

- ・資料に書かれている岐阜市の図書館「メディアコスモス」を訪れたことがあるが、松本市中央図書館の建物も素晴らしいと思っている。全面改修でなくメンテナンス中心の改修と伺って安心した。

(2) 報告事項2 松本市図書館未来プランの進捗状況について
資料4～7ページ 事務局より説明

ア 主な内容

- ・趣旨
- ・未来プラン策定の背景
- ・経過
- ・松本市図書館の基本理念
- ・未来プランの取組内容
- ・令和4年度の評価指標に対する実績
- ・JR村井駅多目的スペース「若者の居場所」として整備

イ 意見・質問

(越高委員)

- ・JRの村井駅の多目的スペースは、図書館から司書が配置されるのか。

(事務局)

- ・本の所蔵が無く、資料の受け渡しのみのため、現在検討しているのは、司書ではなく、普通の会計年度4類、パートの方で対応する予定。

(越高委員)

- ・本があるわけではないのか。

(事務局)

- ・寄贈本、リサイクル本を設置する予定。

(越高委員)

- ・中央公民館の図書室も、本はたくさんあるが司書がいいため、事務室に借りに行く必要がある。人がいないと荒れてしまうし活用が難しい。公民館には司書の資格を持つ方が配置されていない。構想はいいが、人がいないのにやろうとするのは難しいと思う。

(事務局)

- ・まったく人がいないのではなく、職員は常駐する。簡単な資料検索などは対応するが、難しいレファレンスは図書館へご案内する予定。

(伊東会長)

- ・村井駅は新聞にも出たので見た方も多いと思う。新聞では本箱が並んでいる絵があって、図書館ができると感じたが、どうも違うと分かった。
- ・寄贈本やらでこれだけ置くよりはなんとかならないかと思う。ただ、この場所が、駅の利用者が一休みする場所になるため、図書館の本を置くと、職員が張り付かなければならない。開館、閉館時間のコントロールが必要。駅となると難しいという話になると予想はできるが、職員がいる間くらいは貸出できる小さい本箱を置くとか。設計がまだで言いにくいところもあるだろうが、逆に設計中だから言えることもある。
- ・パートの方がいる間、17時までは本が置けるが、帰る時に閉められる壁とか。寄贈本、いらぬ本ばかり置かれているというのも寂しい。
- ・高校生とかが多いので高校生対象とかに絞ってもいいと思う。個人的な意見だが。小さい本箱くらいの対応しかできないなら、高校生にスマホではなく本を読みなということで文庫・新書だけ置くとか。いいアイデアないかな、と新聞を見て思った。検討の余地があれば。

(梅谷委員)

- ・私も村井駅の資料を見た時にわくわくした。本の所蔵がないのはやはりもったいないと思う。
- ・他の都市では、「子ども図書館」といって、子ども向けの本の所蔵と貸し出しがある図書館がある。大人向けの本は所蔵していないが、大人もインターネットで予約した本を使って借りることができる。村井駅でも中高生が主な対象の図書館として、同じような仕組みができればよいかと思う。

(伊東会長)

- ・近いところだと飯田市が駅前に図書館を造ったが、中高生に特化している。図書館エリアは職員がシャッターを開けて、その周りにも本があって、それは手に取れる。そこまでのことは無理だと思うが、工夫のし甲斐があると思う。
- ・先程岐阜の話が出たが、メディアコスモスができる前、岐阜駅にも分館ができたが、そこに人が集中して本館を圧倒した。駅は嫌でも人が来るため、そこに本を置くという強みを生かせたらと思う。
- ・駅にサービスポイントを置くという試みはよくある。ディズニーランドの浦安市とか。本当に窓口しかなく、名前を言って本を受け取る、という機能しかなく、滞在できない。本の受け渡ししかできない、というのがサービスポイントの多く。こういう空間があるのはすごいことなので何とかして欲しいという意見が多かったということ。

(3) 報告事項3 令和5年度重点目標について

資料P8～10ページ 事務局より説明

ア 主な内容

- ・事務事業の概要
- ・令和5年度における重点目標
 - ・松本市図書館未来プランに基づく事業の推進（継続）
 - ・中央図書館の大規模改修（継続）
 - ・電子図書館の導入とICTの利活用（継続）
 - ・子どもの読書活動の推進（継続）

イ 意見・質問

(事務局)

- ・資料10ページの「具体的な進め方等」の「(エ)～、年度内に第3次学都松本子ども読書活動推進計画を策定します。」とあるが、上位計画によるものとなったので修正をお願いしたい。

(伊東会長)

- ・第3次は作らないということか。

(事務局)

- ・本来であれば第3次を策定するが、昨年、文科省から通達が出ており、

計画に基づいて活動しているため、これから協議することになるが、計画策定ではなく、上位計画への位置づけで考えているが、また推進委員へはお諮りしていないので確定ではない。

(伊東会長)

- ・上位計画とは何か。

(事務局)

- ・教育振興基本計画、もしくは未来プランとなる。子どもの計画についてはこういうことを考えている、ということ盛り込んでいくという形。

(伊東会長)

- ・確認の意味で質問を。(2) 中央図書館の大規模改修のイ(イ)でアスベスト調査を行うという文章でよいか。

(事務局)

- ・アスベスト調査は今年度中に行う予定。令和5年10月1日以降に建物改修を行う場合、アスベスト調査が必須なため調査を行うということでここで着工するわけではない。

(伊東会長)

- ・未来プランと合わせて、分からない所があればご意見を。

(越高委員)

- ・未来プランを見ると、塩尻の図書館とか書いてあるが人口に対して、松本はどうしてこんなに職員の人数が足りないのか。あまりに人数の差がありすぎて、いろんなプランをたてて、盛んになるほど人が必要だと思う。一般企業なら利益を上げれば人が増えるが、公務員は違う。塩尻市と松本市の人数の違いは、人口に対する職員数の規定はないのか。

(事務局)

- ・採用は市で行うので、望ましい人数はあるかもしれないが、必ずしもその人数が割かれるわけではない。

(伊東会長)

- ・えんぱーくはそういう人数だが、えんぱーくの前の図書館は8人とかでそれから増やしていった。

(越高委員)

- ・それはどうやって増やしていったのか。実績が上がると増えるのか。

(伊東会長)

- ・それは図書館側から市へのアプローチである。どこの課も人が足りない中で人事課ではせめぎあい。忙しいところへは人を配置せざるを得ない。忙しくするのが先なのか、プランが先なのかは戦略。塩尻市は正直、人口当たりの人数は恵まれている。だからいろいろなことが出来ていると思うが、それでも足りないのは事実。委員からそういう声があったというのも一つなので、図書館は人事課へそんなことを言われたと挙げるのも一つの戦略だとは思う。

(梅谷委員)

- ・職員が返却と貸し出しを対応してくださっている現在のシステムはありがたい。ただ、コロナの時のように、人が対応できない時はまたこれからもあると思う。もう少し利用者が直接本を借りる、返却は自動にするといった仕組みを検討されるのはいかがだろうか。職員の方には、おはなし会とか講演会とかもやってみたいと考えていらっしゃるのではと思う。個人的には、貸し出しの方とお話をするのは好きだが、半分は機械化することを検討いただければと思う。

(事務局)

- ・今おっしゃられたのは、貸出・返却を利用者が機械でというお話かと思うが、図書館でもICタグを使って電子化、というのは検討してきたいと思っている。ただ、総務部局からはICタグ化したら人はいらなくなる、と言われていて、そこが難しいところ。ICタグ化で省力化する分、サービスを充実していきたいところだが長年日の目を浴びてこなかったところがあるため、市の内部へ図書館がもっと使えるんだというアピールをしてきたいと思う。

(伊東会長)

- ・資料7ページ「別紙2」のところに未来プランの指標があって、数字目標が掲げている。上から10個目くらいの健康とかビジネスの企画数が0になっている。今ここを0で上げる図書館は全国的に珍しいが、松本ではできていない。発信力の弱さプラス、やっていなければ発信できないのでこれが発信力の弱さになっている。こういうところに人を割けた

いが機械化してもなかなか割れない。機械がなんでもやってくれるわけではないし。むしろICタグを入れる理由としては、プライバシーの保護という理由の方が強いと思っている。何を借りるか見られたくないということ。図書館だから変な本があるわけではないが、そういうところのカバーを市民に対して行いたいというのが理由の一つだと思う。こういうプランを作った以上やっていくんだという意思表示をきちんと行っていく必要がある。そのためにも村井駅はいい。図書館は色々なところで頑張っているんだという発信ができるのは大事。

(中村委員)

- ・個人的な意見だが、夫も私も仕事をしていて、まもなくリタイアという時で、この頃、図書館まで歩いて市街地を見て、図書館をゴールにして本を借りて帰ってくる、ということをやっている。図書館も来るたびにいろいろな企画をしていて情熱を感じる。ユニクロだとポンと（買うものを置くと）読み込んでくれる。えんぱ一くもそうで、本をそこに置くと借りられる。図書館は昔ながらの静かな、本を読んで、という他に、私たちが刺激を受ける場所でもあるので、展示の仕方とか羅列の仕方とかの他に、歩いているだけで、あれを読みたいねという意欲がわいてくる場所。それが大事だと思う。
- ・村井駅は寄贈された本が置かれるとのことだが、回転しないと置きっぱなしになってしまうので、ただ羅列されていても流れていくだけだと思う。駅はスピード感がある場所なので、貸し借りができればどんなに楽しかなと思う。図書館は出会いの場所であって欲しい

(伊東会長)

- ・途中とても素敵なフレーズがあった。本を読むだけではないというのは、まさに図書館が目指す姿だと思う。

(鈴木委員)

- ・未来プランに基づく事業の推進（資料8ページの(カ)）に、村井駅や四賀地区にサービスポイントの設置を検討するとあるが、今、何か案はあるのか。

(事務局)

- ・サービスポイントについては、来年度10月に村井駅ということと、四賀地区に来年度から予約資料の貸し借りができるような場所を作りたい

が、現在検討中で財政部や政策の課に交渉しているところで決定ではない。

(鈴木委員)

- ・昨日の読売新聞の投書欄に興味がある記事があった。茨城県の鹿島市の方だが、学校図書館を地域住民に開放し、感謝という記事。学校図書館を数時間、四賀地区、(または)図書館まで行けない地域の方々に、学校を利用してもいいのではと思った。一つの案として。

(事務局)

- ・学校図書館に関しては学校教育課で所管しているため、この場でこういう意見があったと伝えさせていただきたい。

(伊東会長)

- ・行政の縦割りの変な所が出ないようにしたい。一方で、学校図書館と公共図書館は違うため、中学校だと大人向けの本も置けるが、小学校図書館だと、大人が行って読む本があるのか、となると思う。学校図書館に大人が来ていいというのは全国的にあるが、公共図書館が関わり、ある書架だけは大人の本を置く、という形でいろいろな問題が付きまとうが検討することは大切だと思う。

(越高委員)

- ・学校には簡単には入れないと思う、セキュリティの問題もある。私たち業者でもピンポン押して門扉を開けてもらうところもあるので、誰もが気軽に学校に入れるというわけにはいかないのでセキュリティの問題が大きいと思う。

(柳澤委員)

- ・なかなか難しいところだが、大野川小・中学校は保護者にも貸出をしている。各家庭で読み聞かせをするための絵本を貸しているが、それは学校として取り組んでいる。
- ・確かに管理上の問題はいろいろあるが、そこを管理するために時間の設定とか、物理的のところとか、セキュリティとか。学校教育では地域の方に開かれていかなければならない、という方向性は確実にある。ただ、事件等があるのでそのせめぎあいにあると思う。本来なら、地域の方も利用してなんぼの公共施設の一つだと私は思う。

(伊東会長)

- ・今の話で、地域の方も小学校に来るのか。

(柳澤委員)

- ・地域の方は来ない。保護者の方だけ。よく利用される方にはカードを作っている。

(伊東会長)

- ・この辺りだと、麻績村が代表的。小学校の図書館に住民が入れるようになっているが、逆に子どもたちの方が入ってはいけないというセキュリティになっている。その辺を含め検討の余地はあるかと思う。

(4) 報告事項4 第73回長野県図書館大会（松本大会）概要について

資料P11～12ページ 事務局より説明

ア 主な内容

- ・大会テーマ
- ・大会趣旨
- ・大会日時、会場、主催
- ・日程・内容
- ・分科会

イ 意見・質問

(事務局)

- ・松本市の実行委員の中に、図書館協議会も入っており、伊東会長、柳澤校長先生も入っている。大会案内については印刷中でまだお渡しできないが改めてお渡しするのでぜひ参加いただければと思う。

(柳澤委員)

- ・いろいろなきさつはあるが、図書館協会の組織の仕組み、なかなか複雑なところがあり、小中学校図書館部会の松本支部、公共図書館の部会、大学は大学、高校は高校とあり、例年、地区で図書館大会の開催地が回ってくる。今年度は松本がその会場となる、ということで、主に大会の全体のところは、小中学校と公共図書館の部会が運営をやり、別の分科会というところで高校と大学がある、という難しいところがある。

- ・今年度、テーマや発案をさせていただいて、学校教育がなかなかの閉そく感というか過度期にあることは承知いただいていると思うが、学校が楽しくなければ来ないと思う。不登校がこれだけ発生していて、子どもも教員もがんじがらめになっている。図書館においても、そこに楽しさがなければ人は来ないだろうという思いで、テーマを発案した。
- ・楽しみは、人それぞれで違い、自分で求めてくる楽しみは違うと思う。図書館の職員や司書の先生が腹を割って言い合う場があれば面白いのではと考えて分散会を設定した。方向性は、未来プランの、こんな図書館あったらいいのにな、という方向性になっていくと思う。現に風越学園は一貫校の私立だが、昇降口を入れてすぐに本棚があって、そこは図書館と呼ばずにライブラリという学ぶ空間になっている。
- ・従来の在り方というか、「こうしなければならない」図書館像を一旦おいて、こういう楽しみが実現できたらいいな、というのを語り合える場にしたいと思っている。
- ・同時にこの大会の運営が、各地区にとって負担、重荷になっているのも現実問題としてある。できるだけ構えないでできる方向性を提案出来たらと思っている。

(伊東会長)

- ・県外ではもう図書館大会がないというところもあるし、公共図書館でしか集まらず、学校は学校でやっているというところもある。だから大変だが、学校と公共が関わって、全体としての大会ができるところを作ってきた長野県はすごいと思う。大事なものは残しつつ簡素化というのは大変だが、10年に1回だから、というのもある。負担にならず簡素化しなければいけないと思う。

(馬場委員)

- ・全く一般の人の参加も可能か。

(伊東会長)

- ・図書館職員の大会ではないのでいいと思う。

(越高委員)

- ・人集めというか、そういうのは大変だと思うが、強制ではないから学校の先生も来なければ来るのか。
- ・事例発表は1時間の中にコマ切れにやるのか。

(事務局)

- ・ 1時間の中で5つ行う。

(越高委員)

- ・ 10分くらいで話すのは大変ではないか。全体として何を目標しているのかというのは事例発表を聞いて、何をしたいのかとか目指す目標が最初の趣旨になると思う。
- ・ 分科会と分散会は何が違うのか

(事務局)

- ・ これまでだと、分科会は、幼稚園・保育園、小中学校、大学、ボランティア等で、10いくつ、昔は開催していたがコロナがありスリム化で減っていて、大会のメインのところでは2つの分科会、それと大学と高校という形だった。今年度は分散会という形にしたのは、皆さんの楽しみを知りたいということで、本来は、分科会をやってまとめ、とやっているが、今年度は皆さんに明日の意欲をもって帰っていただきたいということで、分科会としてきちっとまとめをやるのではなく、楽しい気持ちでやりたいということで分散会にした。内容的には大きく違わないが、今年度は柳澤委員のご提案で1、2として両方を同時並行でやっていて、例年とは違う形ということで「分散会」という名称をつけた。

(越高委員)

- ・ 参加する人は、どういう話を聞きに参加すればいいかわからない。人を募集する時に、参加したいなという切り口がないと。事例発表は分かるが、分散会は、さて出ようとした時に、どこに出たらいいのかが分かりにくい。

(事務局)

- ・ 資料には細かく書いていないが、大会案内には詳しく記載する。図書館の楽しみとか、私の楽しみを語り合っていたためにスタートするが、1の方は個の私的な楽しみを拡張するために…というところで従来のイメージや枠組みに囚われない個性的な図書館について語る。2の分散会はつながっていく楽しみ、こことコラボしたら楽しいのではという。

(越高委員)

- ・夢を語るみたいな感じになるのか。

(事務局)

- ・現実にはできなくても、夢物語とか、わくわくする図書館はどんなだろうという思いを語っていただくというつもり。

(柳澤委員)

- ・何をやるんだろうと思うかもしれないし、これについて学ぼうといわれるのに我々は慣れすぎてしまっているかもしれないと思って。
- ・学ぶことがなければ意味がないと思うけれども、今はそういう時代を離れていると教育現場では思っている。
- ・どちらの会に入っても同じで、本に対しても、夢とか楽しみとか語り合えたらいいという感じだが、それで何が得られるかといわれると弱いところがあるが、楽しみを共有できる人がみつかったり、こういう楽しみがあるのかと人から知れたり、自分がひそかに思っていたやってみたいことに背中を押したり、となったらいいかなというつもりで設定した。

(越高委員)

- ・話したい方は多いので、そういう意味ではただ人が言ったのを聞くというのではなくて、しゃべる場があるのはいいと思うが、たくさんの方がくるので、まとめる方は能力が必要で大変かなと老婆心ながら思った。あと、参加のしやすさというか、出たいなと思えるようなモチベーションがあればいいと思う。

(柳澤委員)

- ・しゃべっていただかないと進まない会なので。まとめるのは大変だが、まとめたところでどうしようもないとも思っている。

(伊東会長)

- ・今、柳澤委員が語った熱い部分をパンフレットにアピールしてもらいたいが、もう印刷中なら間に合わないか。柳澤委員がファシリテーターなので今話を語ってくれると思う。

(越高委員)

- ・参加費はいくらか。

(事務局)

- ・一人2,000円になる。

(馬場委員)

- ・主に子どもに接することが多く、職場でもおはなし会も、児童・生徒対象にやっているが、この図書館大会に中学生とか高校生は出てくれるのかと思ったが、参加費がかかるなら来ないなと思った。
- ・子どもの意見も聞きたい。村井駅もそうだが、子どもがどう思うのか、本を読むのは子どもから開発していかないといけない。ごっそりスマホに持っていかれていると思う。

(伊東会長)

- ・会議に出てくるだけが仕事ではない。日頃気付いた点があれば、図書館へお伝えいただきたい。

6 閉会